

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	[仮称]小田急相模原駅前西地区第一種市街地再開発事業施設建築物実施設計	階数	地上20F
建設地	座間市相模が丘1丁目149番1外32筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	513 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、物販店、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	2,700 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,433 m ²	確認日	2014年8月2日
延床面積	15,043 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	64%
③ 上記+②以外の	64%
④ 上記+	64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 緑化計画や屋上緑化を行ない、地域緑化へ貢献できる建物を目指す。また、店舗や屋外広場によってにぎわいを創出し、駅前に相応しい建物となるよう努めた。		0
Q1 室内環境 ・断熱等性能等級3相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	Q3 室外環境 (敷地内) ・自治体の景観計画に適合した彩色とした。
LR1 エネルギー ・断熱等性能等級3相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。	LR2 資源・マテリアル ・環境負荷の抑制を促進し、地球環境負荷の低減を図る。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される